

2020年度 年末手当シリーズ②⑧

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

3.0ヶ月要求満額を勝ちとろう！

過去の内部留保は何のためのものだったのか？

海外事業の赤字を始めとする放漫・傲慢経営も問題にすべきだ。経営陣の責任も質すべき。全て「人件費での解決」というのは許せない！

本部と共に闘います！

今日は交渉の山場！

3.0ヶ月でも少なくらいだ！生活のためにも安定した年末手当が必要！

夏のボーナスも低額だった。経営側は真摯に向き合って欲しい！

学生時代の同級生たちと給料の話をするとJRの給料は低いことが分かります。でも安定していたので良いかと思っていましたが、ボーナスを下げられるようなことがあれば、この会社にいる理由が見当たりません。

最近、仕事を頑張っても意味がないと思い始めました。

会社幹部の現場訪問では「コロナで心配だろうが、会社は大丈夫です。明るく頑張りましょう」と話しています。しかも、あちこちでそう言う話を聞きます。

そうであるなら、年末手当も満額支給して社員に安心を与えて下さい！モチベーション爆上げ間違いなしです！リップサービスは要りません！

社長が会見で役員報酬と期末手当を押さえることで「費用を何億円か下げる」と言っていました。夏のようにボーナスの下げ幅が大きくなることは納得できません。

業績は徐々に上向き見込みがあるのだから、社員を奮起させるためにも**3.0ヶ月**出してほしい！出れば奮起しますよ！

私は無所属です。勇気がなく、周りの「2ヶ月出ればいいかな」などの話しにあわせていますが、本音はもっと欲しいです。

陰ながら応援しています。頑張ってください。